

平成 27 年 3 月 25 日

各位

日産化学工業株式会社

国際がん研究機関（IARC）におけるグリホサートの発がん性評価について

IARC は、2015 年 3 月 3 日から 10 日にかけて、ラウンドアップ®の有効成分であるグリホサートほか数剤の農薬の発がん性を評価しました。その結果、グリホサートをグループ 2A（ヒトに対しておそらく発がん性がある）に分類すると、3 月 20 日（現地時間）に発表されました。

グリホサートは、米国環境保護庁（U.S.EPA）において最もリスクの低い E に分類され、欧州連合および FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議（JMPR：Joint Meeting on Pesticide Residues）では、がんとの因果関係はないとされています。また、2015 年 1 月、ドイツ政府は EU を代表した 4 年間にわたるグリホサートの評価を完了しました。ドイツ規制当局では、IARC が考慮したデータに加え、さらに多くの研究を精査したうえで、ヒトに対して発がんリスクを有するとは考えにくいと結論づけています。

以上のことから、弊社はグリホサートに発がん性は無いと判断しております。

以下に IARC による分類と事例をまとめました。

（注）2015 年 2 月時点

分類	分類事例	事例数
グループ 1：ヒトに対して発がん性がある。 (Carcinogenic to humans)	たばこ、紫外線、アルコール飲料、太陽光	116
グループ 2A：ヒトに対しておそらく発がん性がある。 (Probably carcinogenic to humans)	アクリルアミド、熱いマテ茶、日内リズムを乱すシフト労働	70
グループ 2B：ヒトに対する発がん性が疑われる。 (Possibly carcinogenic to humans)	コーヒー、アロエベラ抽出液、漬物	285
グループ 3：発がん性について分類出来ない。 (Not classifiable as to its carcinogenicity to humans)	コレステロール、茶、カフェイン、水銀	506
グループ 4：ヒトに対しておそらく発がん性がない。 (Probably not carcinogenic to humans)	カプロラクタム(ナイロンの原料)	1

IARC は、世界保健機構（WHO）の下部組織であり、公表されている限られた文献情報に基づき、物質や環境等の因子に発がん性があるかどうかという可能性を評価し、5つのグループに分類しています。今回グリホサートを 2A としましたが、WHO の他のプログラムによる「グリホサートに発がん性がない」という評価と矛盾しています。加えて、WHO 飲料水水質ガイドラインは、グリホサートが人の健康に害を示さないと結論付けています。

農薬に関しては、日本を含む各国の規制当局が、発がん性を含む様々な項目についての適正なガイドラインに沿った多数の試験成績を基に、継続的かつ厳正に審査したうえで使用を認可しています。

また、IARC によるグリホサートの分類が、農薬規制当局の従来判断に影響を与えるものではないと考えております。

ラウンドアップ®は 40 年にわたり世界各国で安全に使用されております。弊社は、これからも普及販売に注力することで、国内における農業、環境保護に貢献してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

日産化学工業株式会社

農業化学品事業部企画開発部 山本、稲垣、相川 TEL:03-3296-8151

INTERNATIONAL PROGRAMME ON CHEMICAL SAFETY

ENVIRONMENTAL HEALTH CRITERIA 159 GLYPHOSATE World Health Organization, Geneva, 1994

<http://www.inchem.org/documents/ehc/ehc/ehc159.htm>

JMPR (WHO/FAO). 2004. Pesticide Residues in Food. Report of the Joint Meeting of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and the WHO Core Assessment Group. Part II-Toxicology, Glyphosate: 95-169. Rome, Italy 20-29 September 2004.  
<http://www.inchem.org/documents/jmpr/jmpmono/v2004pr01.pdf>

WHO Drinking Water Guidelines for glyphosate and AMPA  
[http://www.who.int/water\\_sanitation\\_health/dwq/GDW12rev1and2.pdf](http://www.who.int/water_sanitation_health/dwq/GDW12rev1and2.pdf)

European Food Safety Authority Rapporteur Member State assessment reports submitted for the EU peer review of active substances used in plant protection products  
<http://dar.efsa.europa.eu/dar-web/provision>

US. EPA. (1993) EPA: Glyphosate. EPA-738-F-93-011. U.S. Environmental Protection Agency, Washington, DC.  
<http://www.epa.gov/opp00001/reregistration/REDS/factsheets/0178fact.pdf>

US EPA. 2013 Federal Register Final Rule Glyphosate; Pesticide Tolerances. 78 (84): 25396-25401.  
<http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/FR-2013-05-01/pdf/2013-10316.pdf#search='US+EPA.+2013+Federal+Register+Final+Rule+Glyphosate%3B+Pesticide+Tolerances.+78+%2884%29%3A'>

European Commission. (2002) Report for the Active Substance Glyphosate, Directive 6511/VI/99, January 21.  
[http://ec.europa.eu/food/plant/protection/evaluation/existactive/list1\\_glyphosate\\_en.pdf#search='EC+glyphosate+2002'](http://ec.europa.eu/food/plant/protection/evaluation/existactive/list1_glyphosate_en.pdf#search='EC+glyphosate+2002')

IARC : フランスのリヨンにある国際がん研究機関のことで International Agency for Research on Cancer の略です。WHO（世界保健機関）の下部機構として設立され、がんの原因及び予防の研究、がんに関する情報の収集・普及などを目的としています。

FAO : 国際連合食糧農業機関（Food and Agriculture Organization）国際連合の専門機関の一つ

WHO : 世界保健機関（World Health Organization）国際連合の専門機関の一つ